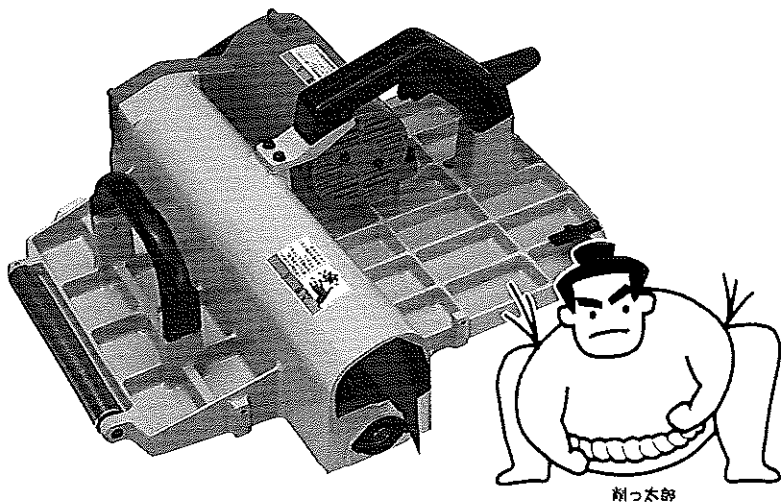


幅広カンナ

横網

型式 NS-407

取扱説明書



剛っ太郎

- このたびは松井電動工具シリーズ、“横網”お買い上げ賜わり、誠にありがとうございます。
- ・この取扱説明書は機械の使い方だけでなく、安全上の重要な事柄が書かれています。機械を使用される前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、書かれていることを完全にご理解されるまでは絶対に機械を作動させないでください。
 - ・この取扱説明書は、機械を使用される方がいつでもご覧になれる所に、保管してください。



株式会社 松井鉄工所



ISO 9001:1994
JIS Z 9901:1994



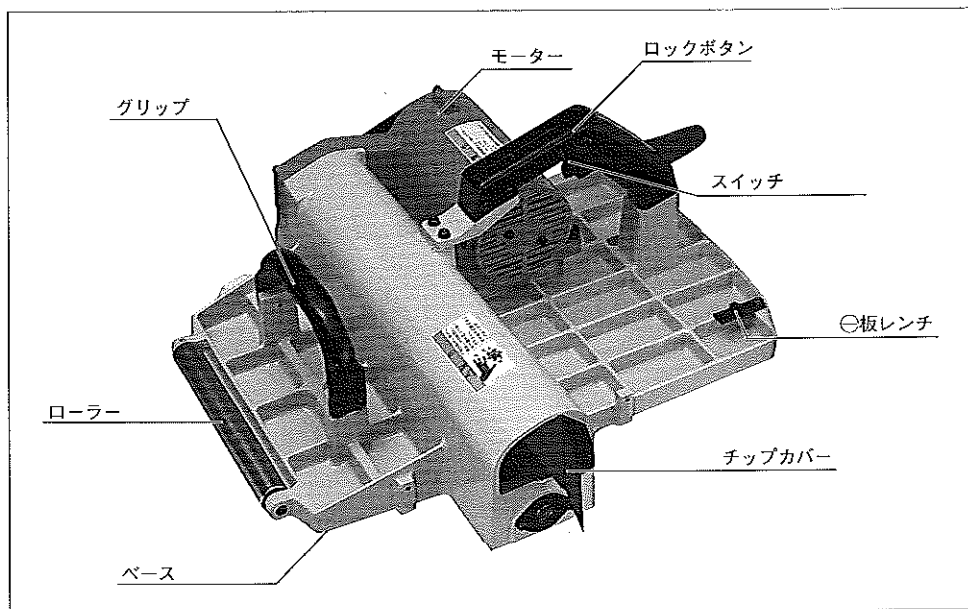
JAB
OS Accreditation
認定番号 R001

仕様



電 動 機	直巻整流子電動機
電 圧	単相100V
電 流	15A
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	1460W
回 転 数	15000 r. p. m
最 大 切 削 幅	407mm
切 削 深 さ	0.3mm (一定)
重 量	17kg

各部の名称および通常付属品



- ボックスレンチ (9mm)
- ガイドレール
- ブレードゲージ (刃高調整ゲージ)
- チップカバー
- 三角定規
- ガイドレール取付カラー (2個)
- 調整ネジ ⊕平小ネジM6×13 (4本)
- ガイドレール取付ネジM6×65 (2本)

安全上のご注意



- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上完全にご理解頂くまでは機械を作動させないでください。
- ・この取扱説明書に記した注意事項は『警告』『注意』に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容を記していますので必ずお守りください。
- ・この取扱説明書は機械を使用される方が、いつでもご覧になれる所に保管して下さい。
- ・本機を絶対に改造しないでください。

『警告』『注意』の意味について



△警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること。

△注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性及び物的損害が想定されること。

- ・△注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

電動工具使用上のご注意



- ・火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、一般的な注意事項として次に述べる「電動工具使用上のご注意」をお読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。

△警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

△警告

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
 - (例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

△警告

10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

△警告

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行ってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

電気カンナご使用上の注意



先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電気カンナとして、さらに次に述べた注意事項を守ってください。

△警告

- 必ず接地（アース）してください。
 - 故障や漏電のときに感電の恐れがあります。
 - 接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。
 - アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。
テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
 - アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
 - 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の接地された電源に接続されますことをおすすめします。
労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
- アース線をガス管に接続しないでください。
 - 爆発の恐れがあります。
- つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
- 使用電源は、銘盤に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - 台が不安定ですと、けがの原因になります。
- 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - かんな刃に触れけがの原因になります。

△警告

8. 本体を万力などで保持して、かなな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
 - ・かなな刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
9. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・回転しているかなな刃に触れ、けがの原因になります。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、事故の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
12. 作業中は手袋をして使用しないで下さい。
 - ・機械の回転部に巻き込まれる可能性があり、事故となる恐れがあります。
13. 加工材の切削面に釘や砂などを取り除いて下さい。
 - ・刃物を破損させ、思わぬ事故となることがあります。
14. 作業場所周辺には、ボロざれやひも等巻き込まれやすいものを置かないで下さい。
 - ・カンナ胴にまきこまれ、思わぬ事故となることがあります。
15. スイッチを入れるときは、機械の回転部や刃物類が加工材などに接触していないことを確認して下さい。
 - ・機械が反発して、思わぬ事故となることがあります。
16. 作業中は、カンナ刃周辺に電源コードを近づけないで下さい。
 - ・カンナ刃に電源コードが接触しますと、電源ショートや断線、漏電などの事故となる恐れがあります。
17. スイッチを切っても刃物は惰性で回転していますので確実に回転が止まるまでは油断せず注意して下さい。
 - ・思わぬ事故となる恐れがあります。

△注意

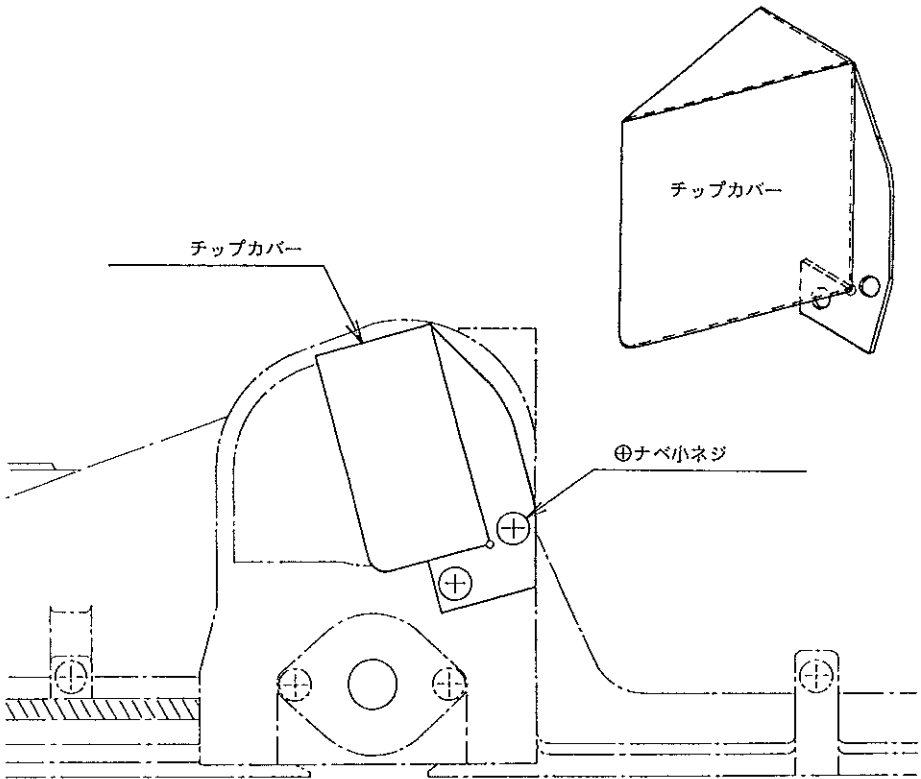
1. かなな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. かなな刃の取扱には、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
3. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・かなな刃に触れ、けがの原因になります。
4. ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないで下さい。
 - ・かなな刃に触れ、けがの原因になります。
5. かなな刃の交換や刃高調整後は、かなな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。
 - ・ボルトがゆるむと思わぬ事故の原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転しているかなな刃に注意して下さい。
 - ・手などが触れるとけがの原因になります。
7. 機械を確実に保持していないときには回転させないで下さい。回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・事故の原因になります。
8. き裂があるもの、変形したもの、指定以外のかなな刃は使用しないで下さい。
 - ・事故となる恐れがあります。
9. かなな刃を取り扱うときには、刃先に十分注意して下さい。
 - ・怪我となる恐れがあります。
10. 刃物類などの交換、整備で部品の着脱を行なうときは、きれいな場所でホコリ、砂などがつかないように心がけて下さい。
 - ・故障となる恐れがあります。
11. 電源プラグをコンセントに接続する前にスイッチが確実に切れるかどうか確認して下さい。
 - ・事故となる恐れがあります。

削り方



1. チップカバーの取り付け方

- ・付属のチップカバーを本体の削り屑排出口へ、本体に付属の2本の⊕ナベ小ネジで取り付けて下さい。



2. ガイドレールの取り付け

- ・必要に応じて付属のガイドレールを本体とレール間に付属の取付カラーをはさみ、なべ小ネジで取り付けてください。

3. 切削深

- ・カンナの切削深さは0.3mmで一定です。

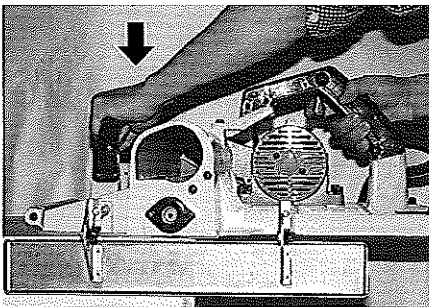
4. スイッチの操作

- ・スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。引金を引いてからハンドル側の側面にあるロックボタンを押すと、引金を離しても入ったままになり連続運転ができます。停止させる時は、もう一度引金を引き離してください。

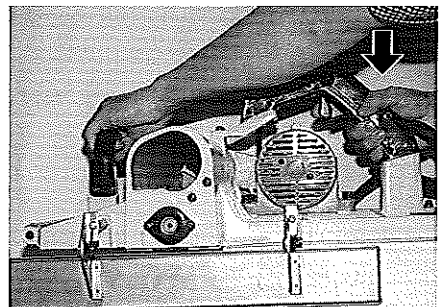
5. 削り方

- ・前部ベースを木材の上のせ、平らになるように支えます。
- ・カンナ刃が木材に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が一定した後木材の上を滑らかに動くように静かに前に進めます。
- ・滑り始めには写真のように前の方に力を入れ、削り終わりには後ろの方に力を入れいつもカンナを平らに動かしてください。

削り始め



削り終り

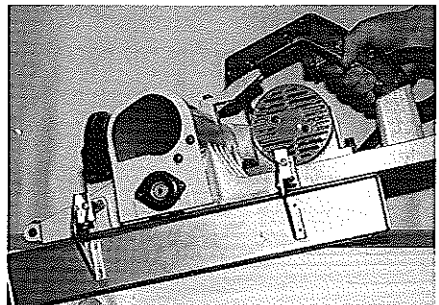


△警告

- ・万一削りくずが排出口などにつまった場合は、スイッチを切りプラグを電源コンセントより抜き、回転が止まってから木の棒などでかき出してください。
思わぬ事故の原因となります。

6. 削り終わった後のカンナの持ち方

- ・削り終わった後はスイッチを切り、回転が止まってから機体を手前に引き戻し、スイッチ部を少し持ち上げてローラを回転させながら移動してください。



カンナ刃の取り付け、取り外し、刃高調整



- △警告
- 必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。思わぬ事故となります。

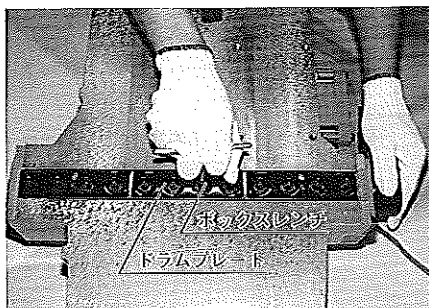
【注記】

- 水平な台で作業して下さい。
- 刃先に触れないようにカンナ刃の両端をつかむようにして下さい。

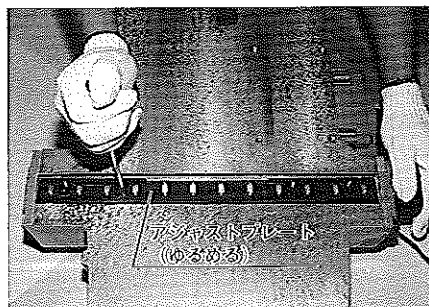
本機は調整ネジを使用するセットスクリュー式と、刃高調整ゲージを使用するブレードゲージ式の2種類の刃高調整ができます。
本機購入時にはブレードゲージ式になっています。

カンナ刃の取り外し方

- カンナ刃を締めつけている12本の六角ボルトを付属のボックスレンチ（9mm）で取り外し、3個のドラムプレートを取り外します。



- カンナ刃に付いている2枚のアジャストプレートの4本のネジを⊕ドライバーで少しゆるめて下さい。
(この作業はブレードゲージ式の場合だけです)



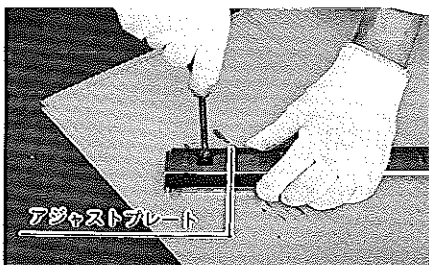
- ・長穴部に指を差し込みカンナ刃を取り出してください。



- ・反対側のカンナ刃も同様に取り外します。

- ・カンナ刃に付いている2枚のアジャストプレートを⓪ドライバーで取り外してください。

(この作業はブレードゲージ式の場合だけです。)

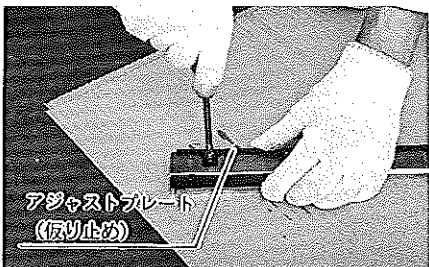


ブレードゲージ式の場合

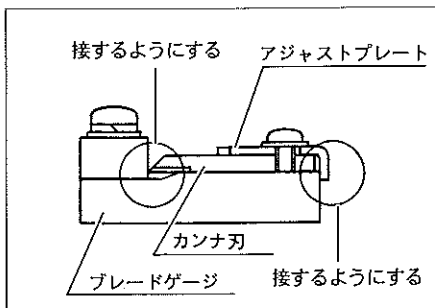
1. ブレードゲージによる刃高調整

- ・研磨の終わったカンナ刃はカンナ胴に取り付ける前に、付属のブレードゲージで刃高調整をしてください。

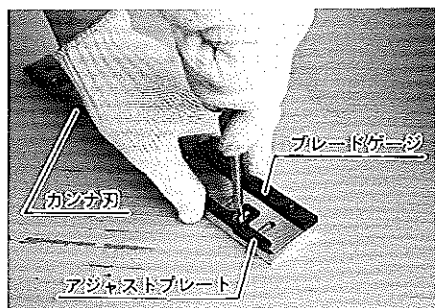
- ・カンナ刃に2枚のアジャストプレートを自由に動く程度に固定ネジで仮り止めしてください。



- ・カンナ刃をゲージ台の上に置き図のように刃先が確実にゲージ板に接するようにしてください。



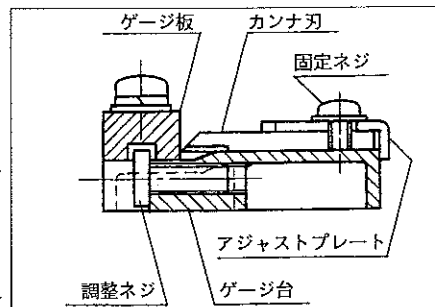
- ・次にアジャストプレートの曲げ部分がゲージ台の端部に接するように刃先方向へ軽く押しながら2本の固定ネジを確実に締めつけてください。



- ・この時、カンナ刃の刃先が確実にゲージ板に当たっていることを確認してください。
- ・同様にもう一方のアジャストプレートもブレードゲージを使って調整して締め付けてください。
- ・反対側のカンナ刃も同様に調整します。

2. ブレードゲージの調整

- ・ブレードゲージは正確に寸法を出してありますから調整の必要はありませんが、もし刃先がカンナ本体の定盤面より引っ込んでいる場合はゲージ板の締め付けネジをゆるめ、図の調整ネジを回してください。



- ・長期間使用してゲージ板がすり減った場合は、ゲージ板の締めつけネジを取り外し、

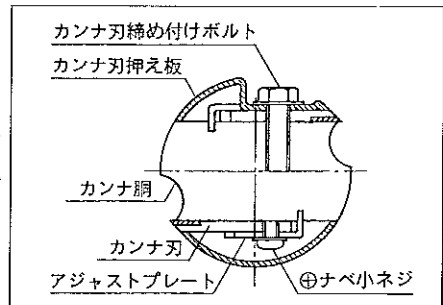
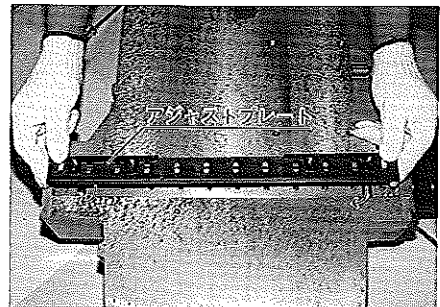
刃の当たり面を変えてから同じ様に調整して締め付けネジで固定してください。

【注記】

- ・カンナ刃を固定している六角ボルトは確実に締め付けてください。
- ・カンナ刃を取り付けるときは、必ず同一寸法、同一重量になるようにしてください。
- ・同一の刃物を使用されないとカンナ胴に振動がおき、きれいに仕上がらないばかりか、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・カンナ刃は常に切れ味のよい状態でお使いください。
- ・カンナ刃のアジャストプレートの端がカンナ胴の溝に入らない場合は、再度ブレードゲージで刃高調整をしてください。

3. カンナ刃の取り付け方

- ・カンナ刃、カンナ胴の取り付け面に付いている、木くず等をきれいに掃除してください。
- ・カンナ刃の長穴部に指を差し込んで持ち上げ、カンナ胴の溝にアジャストプレートの曲げ部分を確実にはめ込み、カンナ刃が浮いていないことを確認してください。
- ・カンナ刃の上に3枚のドラムプレートを並べて置き、12本の六角ボルトを中央から端の方へ2～3回くりかえして均等に締め付け、最後に十分締め付けてください。



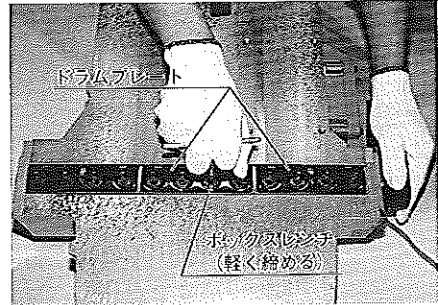
- ・この時カンナ胴の両端からカンナ刃が左右に0.5mmでるように置いてください。
- ・反対側も同様に取り付けてください。

セットスクリー式の場合

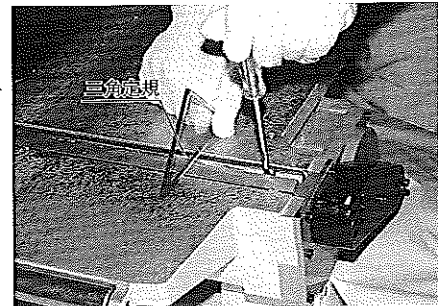
調整ネジによる刃高調整にはブレードゲージ式による刃高調整に使用しているブレードゲージ、アジャストプレート、⊕なべ小ネジ（M4×5、平座金付）は使用しません。

調整ネジによる刃高調整

- ・ 付属の調整ネジ4本をカナナ胴に取り付けてください。
- ・ カナナ刃の切欠部を調整ネジの頭に入れ、3枚のドラムプレートのカナナ刃の上に並べ置き、12本の六角ボルトで軽く締め付けてください。



- ・ 調整は付属の三角定規の一辺を後ベースに平行に当て、カナナ刃の刃先がベースのどの部分でも三角定規の下部に一致するように、⊕ドライバーで調整ネジを左右に回して刃先を調整します。



- ・ 調整が終わりましたら、12本の六角ボルトを中央から端の方へ左右交互に2～3回繰り返して均等に締め付けてください。この際、その都度三角定規で刃先の出具合を再点検、再調整しながら締め付けてください。
- ・ 最後にカナナ刃を上下させる調整ネジをカナナ刃を締め付けた後、必ず締め付けてください。
(カナナ刃締め付けボルト締め付け後は刃高調整ネジを回してもカナナ刃は動きません。)
- ・ 反対側のカナナ刃も同様に取り付けてください。

保守・点検について



△警告

- ・保守・点検の際には必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
電源が抜いてないと事故の恐れがあります。
- ・修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、故障の原因となり怪我の恐れがあります。
- ・メーカーの許可なき機械の改造は行わないで下さい。
思わぬ事故の恐れがあります。

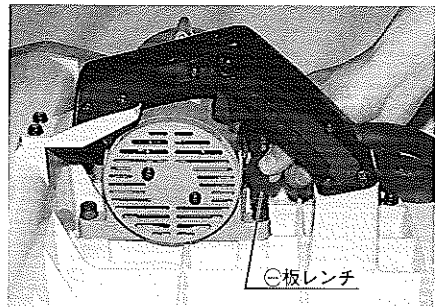
1. カーボンブラシの点検

- ・カーボンブラシの磨耗が大きくなりますと火花が多くなり、モータの故障の原因となりますのでカーボンブラシの長さが6 mmぐらいになりましたら、左右同時に新品と交換してください。

カーボンブラシ：マキタCB-154

2. 取り替え方法

- ・本機付の⊖板レンチでブラシキャップを取りはずし、カーボンブラシを2個新品と取り替えてください。



3. モータ内部の掃除

- ・モータの後部カバーを外して、時々掃除して下さい。
- ・モータ内部に木くずが詰まり、通風が悪くなりますと、モータが熱をもったり、削りくずの排出も悪くなります。
- ・掃除のとき、モータ内部に傷をつけたり、水や油をつけないでください。

4. 修理は、御自分でなさらずお買い求めの販売店に依頼して下さい。

メモ



株式
合社

松井鉄工所

MATSUI IRON WORKS CO.,LTD.

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町70番地

T E L (0596) 36-3346

F A X (0596) 36-2175

営業所 東京・広島・福岡